
十二の月の

春野 梨緒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

十二月の

【コード】

N0856V

【作者名】

春野 梨緒

【あらすじ】

ごく穏やかに大人しく過ごしてきた少女、槻宮 乙葉。つきみやあとは
そんな彼女が不安と期待をのせて入学した、
梨山れいざん高校で彼女を待っていたのは…

次々と起こる、男子生徒たちとのラブ(?)ハプニング！
12の月(暦のほう)を擬人化したオリジナルストーリー！。

く始まり

誰かが、私の名前を呼ぶ声が聞こえた。ような、気がしたような。何処か知らない場所で。

とても、優しい声で。

彼等は何故私を呼ぶのだろっ…？

十二の月日つぎひが今年も廻る

目が覚めたときには、窓からはすっかり、明るい朝陽がカーテンの隙間から差し込んでいた。

「また、あの夢…」

少女、槻宮つきみや乙葉おちはは、まだ少し気だるい身体を起こし、咳く。

その夢はずっと昔から見続けていた。いつから見るとようになったのかは定かではないが、

その夢を見るのは決まって彼女に何か不安な事、心配な事のある時だった。

しかし、そんな時にこの夢を見ると何故だか少し気持ちが悪くなるというのも確かであった。

枕もとの目覚まし時計を見ると、まだ朝の5時過ぎである。流石に早いとは思ったが、

眠気も既に何処かへ行ってしまうている。

乙葉はベットから降りると、寝起きで少しふらつく足下で自分の机へ向かった。

机の上の卓上カレンダーに目をやると、夢の原因が分かった。

「……入学式」

今日の予定が書いてあるだろう空欄には、一言「入学式」と書いてあった。

乙葉が入学する「れいざん黎山高校」には、乙葉の知り合いはいない。それは乙葉が意図的にそういう学校とくろを選んだわけだが、乙葉はそのことに微かすかに不安を感じていた。

夢を見た理由が分かり、一人納得した乙葉は身支度を始めた。洗面所の前に立つと鏡に乙葉の顔が映る。

乙葉は世間から見たら「美少女」という類に入るほどの美しい顔立ちをしていたが、

当の本人はそのことに全く気付いてない。そもそも自分の顔、格好にも特に興味はなかった。

「変な顔」

間の抜けたことを考えながら半ばそこ其処から逃げるように手早くするべき事を済ませ、

新品の制服に着替え始めた。

紺色のブレザーに赤のネクタイ。胸の校章には綺麗な花の刺繡ほどこが施されていた。

上着と同じ紺色のスカートの裾には白い線が1本。

この線は学年によって違い、線の本数によって学年が判わかるそうだが、判りやすいが、結構お金の無駄である。

…などと思うが、そこは黙っておく。

制服に着替え、全身鏡に姿を映すとまるで自分が別人のように見えた。

何だか少し大人になったようで、照れてしまう。

口元に小さく笑みを浮かべた乙葉は、鏡の前で一周くると回り、その場を離れた。

〈始まり（後書き）〉

この度は「十二月の」を読んでくださり、ありがとうございます！

初めての投稿&執筆となりますので、読み苦しい点多々あったかと思えます。

ありきたりな話かもしれませんが、もしかしたら、既存のお話と被ってしまっているかもしれません（汗）

この作品は私の完全なる妄想の産物ですのでご安心（？）をw

今回は主人公の最初のお話、入学式当日のはなしでした。

次回からは、ちゃんと入学 主要人物たちとの出会いの話を書くつもりですので、

続きが出来たらよろしければまた見てくだされば幸いです。

では、ここまで読んで下さり本当にありがとうございます^^

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0856v/>

十二月の

2011年10月9日11時56分発行